

第43回企業短観調査 (2022年8月) 実績分

調査結果

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	6 (15.4%)
建設業	258	15 (5.8%)
小売業	459	23 (5.0%)
サービス業	427	26 (6.1%)
製造業	124	14 (11.3%)
全業種	1,307	84 (6.4%)

考察

売上見通しについては、「増加」と回答した企業が微増しているが、売上・収益の実績は、「増加」と回答した企業の割合が減少に転じており、期待感はあるものの厳しい状況が続いていることが伺える。実績値が「減少」と回答した企業では、小売業の割合が多い。資金繰りについても、実績及び見通しともに「楽」と回答した割合が減少し、売上の伸び悩みから資金繰りに影響を与えているものと思われる。人手については、建設業で「不足」と回答した企業の割合が依然多い状況であるが、その他の業種では、「適正」と回答した企業の割合が多い。各種イベントの再開やプレミアム商品券事業などの消費喚起策により、売上等に若干の回復傾向は見られるものの、感染の再拡大や仕入値及び燃料の高騰など懸念材料は多く、先行きは不透明である。

